

目次

- 2020年度第2回部門理事会について……………1
- 高病原性鳥インフルエンザについて……………2
- 2020年第14回MGR認定試験を開催……………4
- ウェブサイトのアクセス解析（Google Analyticsによる傾向分析）……………5
- 2021年賀詞交歓会の中止について……………7
- 会員ウェブサイトへのリンク設置について……………7
- 気ままにコラム……………8



2020年度第2回部門理事会について

11月26日、ホテルメルパルク大阪にて2020年度第2回部門理事会を開催し、産業ガス・医療ガス両部門より定数各10名のうち各8名計16名の理事、ならびに産業ガス部門監事2名・医療ガス部門監事1名が出席しました。例年同日開催している評議員会および記者懇談会は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況を受け中止としました。

今井会長は挨拶で、コロナ禍においても医療用ガスの安定供給は維持されており、また半導体材料ガスが好調であるとしながらも、予断を許さない状況が続いているとしました。JIMGAの活動については、今年度は災害対策、広報活動にリソースを投入し一定の成果があったと述べ、来年度は産業・医療両部門の組織統合を進め7月より新組織にて、特に保安教育と規制緩和に注力したいと意気込みを語りました。

決議事項および報告事項

決議事項では「入会希望事業者審査の件」「規程類制定、改定の件」「水素バリューチェーン推進協議会入会の件」がいずれも全会一致で承認されました。また、報告事項では2020年度上期活動報告、同上期収支計算書報告、内部監査報告等が行われました。

JIMGA ウェブサイトの[会報誌・本部活動報告]>[理事会・評議員会] (<https://www.jimga.or.jp/report/rijikai/>) に資料を掲載しておりますので、会員ログインのうえご覧ください。
(広報委員会 事務局 石原 智子)



2020年度第2回部門理事会の様子

高病原性鳥インフルエンザについて

2020年度の高病原性鳥インフルエンザの発生は、11/5以降、香川県の養鶏場を中心に10県26事例* (38農場、約336万羽：12/14現在) が確認されており、また北海道・新潟県等においても、野鳥の糞便等から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出され、今シーズンは全国のいずれの地域の養鶏場においても発生リスクが例年よりも非常に高い状況が続いています。

発生した際には、迅速に防疫対策を講ずることが必要であり、その中に『液化炭酸ガス』の供給が求められ、都道府県からの要請を受けたJIMGA/地域本部ならびに県支部、または地域の高圧ガス保安関係団体/事務局等が高圧ガス充填事業所と調整を取りながら、休日・夜間を問わず供給しています。

この責務を果たすには次の課題があり、従事者/関係者の方々が安全に安心して対応いただけるように、行政機関と協議を進め環境整備していくことがJIMGAの役割であると考えています。 ※ 下記地図の●

<課題>

1. 作業現場、輸送における安全確保
2. 液化炭酸ガス容器返却時の確実な洗浄/消毒のあり方
3. 殺処分実施者等に対する液化炭酸ガス容器の安全な取扱の指導/周知
4. 行政機関としての初動対応における容器所有
5. 関係者の円滑なコミュニケーション

以下の情報は、農林水産省のHPから抜粋



令和2年度 国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況 (令和2年12月14日時点)

鳥インフルエンザとは

鳥インフルエンザは、A型インフルエンザウイルスが引き起こす鳥の病気です。家畜伝染病予防法では、鳥インフルエンザウイルスは家きん（ニワトリや七面鳥等）に対する病原性やウイルスの型によって、高病原性鳥インフルエンザウイルス、低病原性鳥インフルエンザウイルス等に区別しています。

家きんが高病原性鳥インフルエンザウイルスに感染すると、その多くが死んでしまいます。一方、家きんが低病原性鳥インフルエンザウイルスに感染すると、症状が出ない場合もあれば、咳や荒い呼吸などの軽い呼吸器症状が出たり産卵率が下がったりする場合があります。

発生した場合の対応は

日本で高病原性鳥インフルエンザが発生した場合、家畜伝染病予防法に基づき、発生した農場の飼養家きんの殺処分、焼却または埋却、消毒、移動制限区域の設定など必要な防疫措置を実施します。このため、発生が確認された農場の家きん、鶏卵などが市場に出回ることはありません。

また、発生が確認された農場から半径10km以内にある家きん飼養農家については、清浄性が確認されるまで出荷が制限されます。

家きん肉や家きん卵を食べて鳥インフルエンザにかかりますか？

日本ではこれまで、家きん肉や家きん卵を食べて、鳥インフルエンザウイルスに感染した例は報告されていません。なお、鳥インフルエンザウイルスは加熱すれば感染性がなくなります。

万一食品中にウイルスがあったとしても、食品を十分に加熱して食べれば感染の心配はありません。加熱するときは、食品全体が70℃以上になるようにしましょう。家きん肉の場合は、ピンク色の部分がなくなるまで加熱するとよいでしょう。

※家きん卵は、国内では、生で食べることを考えて生産されていますが、不安な方や体調の悪い方は、加熱（WHOの食中毒防止のための加熱条件：中心部70℃、瞬間）することをおすすめします。

食べる以外で鳥インフルエンザにかかりますか？

鳥インフルエンザにかかった鳥の羽や粉末状になったフンを吸い込んだり、その鳥のフンや内臓に触れてウイルスに汚染された手から鼻へウイルスが入るなど、人の体内に大量のウイルスが入ってしまった場合に、ごくまれに感染することが報告されています。

なお、海外では、人から人へ感染したことが疑われる事例が数件報告されています。いずれの事例も、患者の世話をした家族が感染するなど、ある程度の期間、密接に患者と接触したことによる感染と考えられています。

日本では、この病気にかかったニワトリの処分や施設等の消毒などを徹底的に行っているため、通常の生活では病気の鳥と接触したり、フンを吸い込んだりするようなことはほとんどありません。そのため、人が鳥インフルエンザにかかる可能性はきわめて低いと考えられます。

（災害対策部会 事務局 前田 和也）

2020年第14回MGR認定試験を開催

2020年12月6日(日)、2020年度第14回MGR認定試験を札幌、仙台、東京、大阪、博多の5か所で開催しました。11月中旬からの新型コロナ感染拡大の影響により19名の事前辞退があり、当日欠席の方を除き最終的に137名の方が受験されました。

本年度のMGR導入時集合講習は、新型コロナ感染症の感染防止の観点から対面式の講習会を取り止め、オンライン配信によるオンデマンド講習としましたが、認定試験に関しては、現状オンラインで実施することができないため、JIMGA、都道府県、経団連等の新型コロナ感染予防対策指針等を参考に、次の項目で構成する「2020年度MGR認定試験における新型コロナウイルス感染症対策」を策定して実施しました。

1. 検温の実施、体調不良の方の受験
2. 試験会場へお集まりいただくに際して
3. マスクの着用等について
4. 試験会場等の換気について
5. その他

東京会場の大田区産業プラザPiOの小展示ホールでは、通常時には最大300名収容できる会場ですが、大田区の新型コロナ対策指針により50%減の150名までの収容となっています。東京会場は、56名が受験されましたが、受験される方の感染防止対策として1台の机に1人ずつ着席していただきました。

また、換気については、右の写真の通り会場内の火災時に使用する換気口を開放して換気を実施。また、非常口を20cm程度開放し、2つある出入口扉も常時開放して実施しました。さらに会場内の空調システムは、通常CO₂濃度が900ppm以上となると外気導入をするように設定されているとのことでしたが、



東京会場 大田区産業プラザPiO 小展示ホール



大阪会場 伊藤佑クリエイトセンター本町

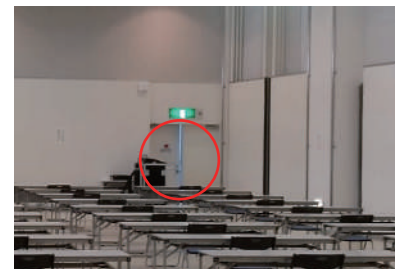
CO₂濃度を下げることにより早めに外気導入がされるようにしていただきました。

東京会場の大田区産業プラザPiO施設担当者との打合せと会場下見を2回実施し、今できることを最大限実行して試験に臨みました。

コロナ禍においてMGR導入時集合講習を初めて受講された方々は、初のオンデマンド講習を受講されたこと、再受験の方々においては、業務で病院等に出向きながら試験勉強をされ大変であったのではと思います。



換気口の開放



非常口の開放



受付のソーシャルディスタンス位置表示

(医療ガス部門 MGR事務局)

ウェブサイトのアクセス解析(Google Analyticsによる傾向分析)

今年8月にウェブサイトのリニューアルを実施しました。新ウェブサイトでは会員の皆様に情報をお届けするとともに、会員情報の更新、出版物等の注文、緊急時災害掲示板等の機能も盛り込んでいます。運用開始より4か月が経過し、皆様がどのようにウェブサイトをご活用いただいているかを調査しました。(対象期間：2020年8月18日～12月8日)

閲覧ページ数とユーザー数の推移

閲覧されたページ数および本サイトを訪問したユーザー数^{※1)}の推移では、8月の新ウェブサイト公開直後のアクセスが約12,000PV^{※2)}/日と最も多く、9月以降は2,000～4,000PV/日の安定的なアクセスが続いています。これはユーザー数も同様の傾向です。主に会員の皆様向けのサイト構成となっているため、急激な増加は今のところ見られませんが、昨年テレビ等でのヘリウム関連の報道直後に一般ユーザー（非会員）からのアクセスが急増したこともあり、今後の変化を注視していきます。

※1) ユーザー数：サイトを訪問したすべての人数（非会員も含む）

※2) ページビュー (PV)：サイトの全ページの閲覧数

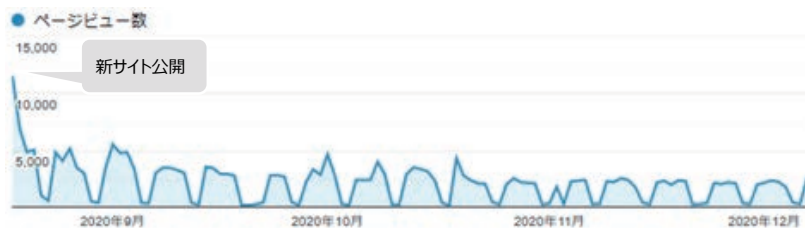


図1 閲覧されたページ数 (PV数) の推移

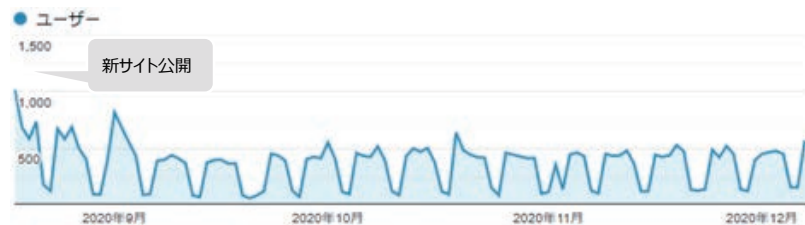


図2 本サイトを訪問したユーザー数の推移

リニューアル前との比較

昨年同時期比では、当サイトを訪問したユーザー数は減少したものの、閲覧ページ数 (PV数) やページ滞在時間は増加しています (表1)。

PV数や滞在時間の増加は、会員情報の閲覧の際にログインページを経由する構造となっていることが影響するため、必ずしも多ければよいとは言えませんが、ウェブサイトの各機能が皆様にご利用いただけている状態であると感じています。

表1 ユーザーアクションの概要

計測期間	ユーザー数	閲覧ページ数 (PV数)	平均ページ滞在時間
2019年8月18日～12月8日 (旧ウェブサイト)	38,093	149,324 PV	2分01秒
2020年8月18日～12月8日 (新ウェブサイト)	27,599 (-28%)	250,606PV (+68%)	3分37秒 (+79%)

実際に読まれているページは？

次に、どのようなページが実際に読まれたかを調査しました。アクセス数の多いトップページやお知らせページなどのインデックスページ（見出しページ）は、ウェブサイトの構造上、多くのユーザーが通過するページです。その後、ユーザーが長時間滞在したページが実際に読まれているページといえます。ユーザーが長時間滞在した主なページは以下のとおりです（表2）。

表2 多くのユーザーが長時間滞在した主なページ※3)

順位	ページタイトル	平均ページ滞在時間
1	空気分離によるガスのつくられ方	4分25秒
2	CE実務保安Q&A 2. 法令・規格	3分51秒
3	FRP容器発見のお願い	3分45秒
4	容器RFタグのページ	3分26秒
5	e-ラーニング	3分16分
6	JIMGAnews	2分57秒
7	台風14号による被害情報 災害時緊急掲示板	2分56秒
	統計 月次 溶解アセチレン	2分56秒
8	溶解アセチレンの運ばれ方	2分51秒
9	統計 月次 酸素	2分48秒
10	統計 月次 アルゴン	2分46秒

※3) 事務局での保守作業の影響を排除するため、ページ別訪問数が100未満のページ・特定の会員向けの一時的なページは含んでいません。

「空気分離によるガスのつくられ方」(1位) は一般の方々に向けて酸素・窒素・アルゴンの製造方法等について画像を用いて説明しています。「CE実務保安Q&A 2.法令・規格」(2位) は高圧ガス事業者に向けた技術的なQ&Aです。両ページともコンテンツのボリュームが比較的大きいことから、ユーザーが時間をかけて閲覧したことが分かります。これらの教育・啓発資料とともに、複数の統計資料もランクインしており、関心の高さがうかがえます。

今後は情報を適宜更新するとともに、業界として発信すべき内容を精査してまいります。

会員登録者数について

JIMGAでは会員限定ページの閲覧や、出版物の会員価格でのご購入等のため、会員登録をお願いしております。

8月の新ウェブサイト公開時は登録者数約2,600名からスタートし、現在は会員企業に所属されている3,637名の皆様にご登録いただいております(12月8日現在)。ご登録がまだ! という皆様にはぜひ会員登録をお願いいたします。

会員登録の方法はこちらをご覧ください↓

https://www.jimga.or.jp/files/200930_2hanbai-manual.pdf

最新情報を盛り込んだお知らせを随時アップしております。お気に入りへの登録と週に一度のアクセスをお待ちしています。
(広報委員会 事務局 石原 智子)

2021年賀詞交歓会の中止について

前号でお知らせしましたとおり、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を勘案し、予定しておりました2021年賀詞交歓会(2021年1月13日)を中止いたします。

本件はウェブサイトへ掲載(10月8日付お知らせ <https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=821>)するとともに、関係各位へお知らせいたしました。ご出席を予定されていた皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

(本部 事務局)

会員ウェブサイトへのリンク設置について

協会案内ページにある「会員企業一覧」において、会員各社ウェブサイトへのリンク設置を行っております。リンク設置を希望される場合は、会員会社名とウェブサイトURLをお書きの上、下記、JIMGA広報アドレスへご連絡ください。

JIMGA広報アドレス： jimga-koho@jimga.or.jp

リンク設置後にURLが変更となった際にも、上記JIMGA広報アドレスへご連絡ください。

(広報委員会 事務局)



気ままに コラム

JIMGAも11月から在宅勤務制度が始まった。春の緊急事態宣言中は、制度もないままそれこそ緊急的な実施となったが、自宅にあるのは座卓と小さなクッションだけだったので、長時間のパソコン作業は辛かった。

そこで、今回は机と椅子を買おうとネットで調べていたところ、スタンディングデスクなるものを見つけた。レバーひとつで空気圧によって高さが調整できるというものだ。なるほど、これなら座って作業するだけでなく、気分を変えて立って作業もできる。よし、買ってみよう。

さて、椅子はどうするか。そうだ。以前に体幹を鍛えようと思ったのに、邪魔になっただけのバランスボールがあるじゃないか。デスクを一番下まで下げると予想外にもこれがちょうどいい高さになった。体幹も鍛えられ、作業もはかどる、一石二鳥だ。疲れたら立って、で、また座ってみる。(さらに疲れるとソファで横になる。)これはいいぞ。

今はほとんどバランスボールに座ってポヨンポヨンしながら作業している。こうなると、事務所でもバランスボールの方がいいかも。でも、あっちこっちにコロコロするかな・・・ん、今回の主役はスタンディングデスクじゃなかったっけ？

(広報担当 岩戸 康人)

